

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年6月20日(2022.6.20)

【公開番号】特開2021-16503(P2021-16503A)

【公開日】令和3年2月15日(2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-007

【出願番号】特願2019-133248(P2019-133248)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月10日(2022.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、前記示唆演出が実行される前に前記示唆演出が実行されることを予告する準備演出を実行可能な準備演出実行手段とを備え、

前記示唆演出は、第1示唆演出と、該第1示唆演出と異なる第2示唆演出と、該第1示唆演出および該第2示唆演出と異なる第3示唆演出とを含み、

前記準備演出は、前記第1示唆演出が実行されることを予告する第1準備演出と、前記第2示唆演出が実行されることを予告する第2準備演出とを含み、

前記第3示唆演出、前記第1準備演出および前記第2準備演出は、同一期間に並列してかつ互いに独立して実行可能であり、

前記第1準備演出と前記第2準備演出は、実行される期間が異なり、

前記第1準備演出および前記第2準備演出のいずれかが実行されているときよりも、前記第1準備演出および前記第2準備演出のいずれも実行されていないときの方が、前記第3示唆演出が実行されやすく、

前記第1示唆演出は複数種類の演出態様があり、

前記第1準備演出は複数種類の演出態様があり、

いずれの演出態様で前記第1準備演出が実行されるかに応じて実行可能な前記第1示唆演出の演出態様が異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A)上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

40

50

前記示唆演出が実行される前に前記示唆演出が実行されることを予告する準備演出を実行可能な準備演出実行手段とを備え、

前記示唆演出は、第1示唆演出と、該第1示唆演出と異なる第2示唆演出と、該第1示唆演出および該第2示唆演出と異なる第3示唆演出とを含み、

前記準備演出は、前記第1示唆演出が実行されることを予告する第1準備演出と、前記第2示唆演出が実行されることを予告する第2準備演出とを含み、

前記第3示唆演出、前記第1準備演出および前記第2準備演出は、同一期間に並列してかつ互いに独立して実行可能であり、

前記第1準備演出と前記第2準備演出は、実行される期間が異なり、

前記第1準備演出および前記第2準備演出のいずれかが実行されているときよりも、前記第1準備演出および前記第2準備演出のいずれも実行されていないときの方が、前記第3示唆演出が実行されやすく、

10

前記第1示唆演出は複数種類の演出態様があり、

前記第1準備演出は複数種類の演出態様があり、

いずれの演出態様で前記第1準備演出が実行されるかに応じて実行可能な前記第1示唆演出の演出態様が異なる、

ことを特徴としている。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えば、保留表示予告演出やタイマ演出、チャンス目予告演出など）を実行可能な示唆演出実行手段と、示唆演出が実行される前に示唆演出が実行されることを予告する準備演出（例えば、保留表示予告準備演出やタイマ準備演出など）を実行可能な準備演出実行手段とを備え、示唆演出は、第1示唆演出（例えば、保留表示予告演出）と、該第1示唆演出とは異なる第2示唆演出（例えば、タイマ演出）と、該第1示唆演出および該第2示唆演出とは異なる第3示唆演出（例えば、チャンス目予告演出）とを含み、準備演出は、第1示唆演出が実行されることを予告する第1準備演出（例えば、保留表示予告準備演出）と、第2示唆演出が実行されることを予告する第2準備演出（例えば、タイマ準備演出など）とを含み、第3示唆演出、第1準備演出および第2準備演出は、同一期間に並列して実行可能であり（図9-11(A1), (A2)参照）、第1準備演出と第2準備演出とは、実行される期間が異なり（例えば、保留表示予告準備演出（第2演出態様）の実行が終了した後に、タイマ準備演出が実行される。図9-7(D)参照）、第1準備演出および第2準備演出のいずれかが実行されているときよりも、第1準備演出および第2準備演出のいずれも実行されていないときの方が、第3示唆演出が実行されやすく（例えば、図9-10参照）、さらに、遊技者の動作を検出可能な検出手段（例えばスティックコントローラ31A、コントローラセンサユニット35Aなど）と、可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段（例えばアクティブ表示エリア87AKA1、第1保留表示エリア87AKB1、第2保留表示エリア87AKB2など）と、遊技者の動作を促進する促進演出を実行可能な促進演出実行手段（例えば可変表示中演出処理のステップ87AKS051を実行する演出制御用CPU120など）と、前記検出手段の検出結果に基づいて動作演出を実行可能な動作演出実行手段（例えば可変表示中演出処理のステップ87AKS053を実行する演出制御用CPU120など）と、可変表示の実行中に所定演出を実行可能な所定演出実行手段（例えば可変表示中演出処理のステップ87AKS049を実行する演出制御用CPU120など）とを備え、前記特定表示手段は、特定態様（例えば表示画像87AKC4を用いた赤色表示など）を含む複数の表示態様（例えば表示画像87AKC1～87AKC4に応じた表示色など）のうちいずれかにより前記特定表示を表示可能であり、前記促進演出実行手段は、特殊態様（例えば表示画像87AKF3を用いた大Vコン表示など）を含む複数の演出態様（例えば表示画像87AKF1～87AKF3に応じたVコン表示のサイズなど）のうちいずれかにより前記促進演出を実行可能であり、前記所定演出実行手段は、所定態様（例えば表示画像87AKE3を用いた「激熱！！」のメッセージなど）を含む複数の演出態様

20

30

40

50

( 例えば表示画像 87AKE1 ~ 87AKE3 に応じたメッセージなど ) のうちいずれかにより前記所定演出を実行可能であり、前記特定表示の表示態様に応じて、異なる割合で前記所定態様により前記所定演出が実行され ( 例えば図 11-12 におけるカットイン演出の決定例 87AK41 を参照 ) 、前記所定演出の演出態様に応じて、異なる割合で前記特殊態様により前記促進演出が実行され ( 例えば図 11-13 におけるカットイン演出に応じた促進演出の決定例 87AK51 を参照 ) 、前記促進演出の演出態様に応じて、異なる割合で前記有利状態に制御される ( 例えば図 11-13 における可変表示結果に応じた促進演出の決定例 87AK51 を参照 ) ことを特徴としている。

そのような構成によれば、好適に興趣を維持することができる。また、遊技者の期待感を演出により適切に高めて遊技興趣を向上させることができる。

10

20

30

40

50